江島泰子教授略歷

学 歴

| 1975年 4 月 | 奈良女子大学文学部入学 |
|-----------|-------------------------------|
| 1979年 3月 | 奈良女子大学文学部卒業 |
| 1982年10月 | リヨン第2大学近代文学修士課程登録 |
| 1984年10月 | リヨン第2大学近代文学修士号取得 |
| 1986年 4 月 | 筑波大学大学院 文芸言語研究科各国文学 (フランス文学) |
| | 博士課程前期入学 |
| 1988年 3 月 | 筑波大学大学院 文学修士号取得 |
| 1988年 4 月 | 筑波大学大学院文芸言語研究科博士課程後期入学 |
| 1989年 3 月 | 筑波大学大学院文芸言語研究科博士課程後期退学 |
| 1993年 9月 | リヨン第2大学専門研究課程修了証書 (D.E.A.) 取得 |
| 2000年3月 | リヨン第2大学文学博士号取得 |
| | |
| | 職歴 |
| 1989年4月 | 奥羽大学文学部フランス語フランス文学科専任講師 |
| 1993年 4 月 | 奥羽大学文学部フランス語フランス文学科助教授 |
| 2003年4月 | 日本大学法学部助教授 |
| 2005年4月 | 日本大学法学部教授 |

研究業績

著 書

- 2019年2月 (共著) 柳沢史明他編『混沌の共和国 「文明化の使命」の時代における渡世のディスクール』, ナカニシヤ出版 (論文: 「転換期のディスクール―ライシテ (laïcité) とフランスの優位性」) (共業) 京桑和早編『デリダト死刑を考える』 白水社 (診
- 2018年11月 (共著)高桑和巳編『デリダと死刑を考える』,白水社(論文:「ヴィクトール・ユゴーの死刑廃止論,そしてバダンテール―デリダと考える」)
- 2015年12月 (単著)『「神」の人―フランス19世紀文学における司祭像―』, 国書刊行会
- 2003年11月 (単著)『世紀末のキリスト』, 国書刊行会
- 2003年5月 (単著) Le Christ fin de siècle, Du Lérot.

論 文

- 2020年10月 「社会派詩人ヴィニー?―「脱宗教化」から見たサン=シモン主義との接点をめぐって」、『桜文論叢』第102巻
- 2020年 4 月 「ヴィニー『ダフネ』における「脱宗教性」」, 『キリスト教文 学研究』第37号
- 2019年3月 「アンベール・クレリザックにおけるキリストと聖パウロ, そして教会―キリスト教における脱宗教化の一考察―」,『国際文化表現研究』第15号
- 2017年3月 « La *Bible de l'humanité* de Jules Michelet celle de tout le genre humain ? », 『桜文論叢』第93巻
- 2016年 2 月 「ユゴーからバダンテールへ―その継承のかたち―」, 『桜文 論叢』 第91巻

- 2011年2月 「砂漠の神秘主義―エルネスト・プシカリのイスラム体験」, 『桜文論叢』第79巻
- 2010年5月 « Les martyrs de Lyon sous Marc-Aurele. Exégèse et interprétation de Renan », Cahiers de l'Association internationale des Études françaises, n° 62.
- 2009年10月 「ロベール・バダンテールとヴィクトル・ユゴーの死刑観― 死刑は'聖性冒涜'であるのか?―」,『日本大学法学部120周 年記念論文集』第3巻
- 2007年1月 « La figure du prêtre chez Renan, métaphore des "natures abstraites" », Bulletin de la Société des Études renaniennes, n° 110
- 2006年3月 「ルナンのユーカリスティ観―ヘーゲル『キリスト教の精神とその運命』との対比―」、『国際文化表現研究』第2号